

# JAICOH NEWS LETTER

NO : 75 2016 年 1 月 発行



歯科保健医療国際協力協議会

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1 日本大学松戸歯学部 生化学・分子生物学講座内

URL : <http://jaicoh.org/> Email : [info@jaicoh.org](mailto:info@jaicoh.org) Tel : 047-360-9328

郵便振込 : 00140-9-599601 歯科保健医療国際協力協議会

発行 : 河村康二 編集 : 竹内麗理 遠藤真美

## 2016 年 第 27 回 JAICOH 総会および学術集会のお知らせ (第 1 報)

第 27 回大会長 村田 千年

日時 : 2016 年 7 月 3 日 (日)

場所 : 沖縄県那覇市 産業振興センター (予定)

予定 : 8:30 総会

9:00~ 学術集会開始

12:00~ 懇親会

13:00~ 記念講演およびシンポジウム

7 月 2 日 (土) の夜に参加学生とのセミナーおよび前夜祭を企画中です。

参加者の皆さまには夏の沖縄を堪能して頂き、南の島で熱く国際保健の夢を語り合いたいと思っています。皆さまの参加をお待ちしています。



## 2016 年 JAICOH 研修会のお知らせ (第 1 報)

JAICOH 会長 河村 康二

日時 : 2016 年 5 月 22 日 (日)

場所 : 日本大学松戸歯学部

講師 : Sisilia Fusi Fifita (トンガ王国バイオラ病院歯科室), 他

トンガ王国から講師を二人お招きする予定です。皆さまのご参加をお待ちしています。

## 第 26 回歯科保健医療国際協力協議会総会および学術集会のご報告

第 26 回大会長 JAICOH 会長 南太平洋医療隊 河村 康二

2015 年 7 月 4・5 日に、日本大学松戸歯学部にて「第 26 回 JAICOH 総会および学術集会」が事務局および準備委員長・遠藤眞美氏のご尽力により開催されました。本集会は毎年 7 月の第 1 土曜日と日曜日に開催されています。今回のテーマは『日本から発信！健康を呼び込む口腔保健』と題しました。2 日間を通じて参加者は 77 名（一般 33 名、学生 44 名）でした。

第 1 日目には学生部門・歯科衛生士シンポジウムが行われ、学生部門では口頭発表が 4 演題あり、続いて歯科衛生士の内田千鶴氏、横山恭子氏から『歯科衛生士としてできる技術移転』の口演がありました。第 2 日目には一般口演・特別企画が行われました。一般口演は 10 演題で、特別企画では『笑顔のプログラム in Tonga, since 1998』と題して南太平洋医療隊の 3 名が口演を致しました。当日は最初の駐トンガ王国日本全権大使高瀬康夫氏も出席され活発な討論がなされました。その後の懇親会には多数の方が参加され始終和やかな雰囲気にて終了することができました。これは日頃の皆様の海外、国内における地道なボランティア活動のおかげであると思います。多くの方々の参加を臨み大変感謝する次第です。今後ともよろしく願います次第です。

テーマ： 日本から発信！ 健康を呼び込む口腔保健

大会長： 河村康二（南太平洋医療隊 カワムラ歯科医院）

会場： 日本大学松戸歯学部

〒271-8587 千葉県松戸市栄町西 2-870-1

日時： 2015 年 7 月 4 日（土） 14:00～

5 日（日） 9:30～



## 【JAICOH26 プログラム】

### ☆7月4日(土) 日本大学松戸歯学部101講堂☆

- 学生1 **第15次台湾スタディーツアー事業報告**  
倉澤馨(東京歯科大学国際医療研究会), 他
- 学生2 **国際保健部の活動について**  
伊藤由李子(日本大学松戸歯学部国際保健部), 他
- 学生3 **創設10年から考える学生団体の国際保健医療について**  
村田亜志美留(神奈川歯科大学国際医療ボランティア研究会), 他
- 学生4 **北海道大学冒険歯科部のあゆみ**  
萩野谷大(北海道大学歯学部冒険歯科部), 他
- 学生討論会『学生の思うこと』**
- 歯科衛生士シンポジウム**  
鈴木千鶴(南太平洋医療隊, カワムラ歯科医院)  
横山恭子(南太平洋医療隊, カワムラ歯科医院)

### ☆7月5日(日) 日本大学松戸歯学部101講堂☆

- 1 **ミャンマー連邦共和国における口唇口蓋裂患者への医療協力**  
夏目長門(愛知学院大学歯学部口腔先天異常学研究室, (特活)日本口唇口蓋裂協会)
- 2 **日本の歯科分野の国際交流における戦略的対応の中での口腔ケアの重要性について**  
夏目長門((社)日本口腔ケア学会, 愛知学院大学歯学部口腔先天異常学研究室), 他
- 3 **エチオピア民主共和国での学術調査報告 2014年度**  
山内楓子(愛知学院大学歯学部口腔先天異常学研究室), 他
- 4 **トンガ王国におけるSPMTの内科学的検診と啓発活動**  
内野和顕(南太平洋医療隊, 横浜市立大学医学部非常勤講師), 他
- 5 **南太平洋医療隊のトンガでの支援活動に参加して**  
原 幸子(南太平洋医療隊), 他
- 6 **トンガ王国における成人健診の結果からの考察**  
竹内麗理(南太平洋医療隊, 日本大学松戸歯学部生化学・分子生物学講座), 他
- 7 **サモアの小学校における予防プログラムの実施について**  
浦崎裕之(浦崎歯科医院)
- 8 **善意で貧困はなくせるか?**  
田中健一(がけっぷち予備校)
- 9 **ポンホン地区看護師を対象とした口腔保健能力向上プロジェクト**  
谷野 弦(OISDE, 名戸ヶ谷病院, 日本大学松戸歯学部口腔外科学講座), 他
- 10 **最近のモンゴルの歯科事情と小児齲蝕予防の取り組み**  
黒田耕平(日本モンゴル文化経済交流協会)

企画1 トンガ王国における活動

河村康二（南太平洋医療隊）

企画2 歯科衛生士として出来る技術移転

鈴木千鶴（南太平洋医療隊）

企画3 トンガ王国から学んだ、途上国における歯科保健の方向性

河村サユリ（南太平洋医療隊）

《指定発言・コメント》

高瀬康夫（初代駐トンガ王国日本大使）

小林清吾（南太平洋医療隊顧問）

## 学生部門優秀発表賞

第26回歯科保健医療国際協力協議会学術集会・学生部門優秀発表賞は、神奈川歯科大学国際医療ボランティア研究会・村田亜志美留さん、他の『創設10年から考える学生団体の国際保健医療について』が受賞しました。



## 学術集会に参加して

初代駐トンガ王国日本大使 高瀬 康夫

在トンガ日本大使館は 2009 年 1 月に設立され、私は同年 3 月から 2012 年 10 月まで、初代の日本大使としてトンガに駐在しました。一方、南太平洋医療隊は 1998 年以來トンガでのボランティア活動を行っており、日本大使館より長い活動実績があります。私の駐在中は、JICA と連携して小児の口腔衛生向上を目指したマリマリプログラムが実施されており、これはトンガ人の健康増進のみならず、日本とトンガの友好関係の発展にも大きく貢献しました。日本大使として、高く評価し感謝して、その活動にできる限り協力させていただきました。南太平洋医療隊のトンガにおける今後の活動が益々発展することを祈念しています。



## 学術集会参加報告

自治医科大学歯科口腔外科学講座 ジュニアレジデント 谷口健太郎

2015 年 7 月 4・5 日、日本大学松戸歯学部にて、第 26 回歯科保健医療国際協力協議会学術集会に参加してまいりました。テーマは『日本から発信！健康を呼び込む口腔保健』ということで河村先生が新会長に就任されてから初めての学術集会開催となりました。第 1 日目の学生発表会では日大松戸歯学部、東京歯科大、神奈川歯科大、北大の 4 校が発表を行い、学生主体の海外活動の実績報告がなされました。いずれの活動も JAICOH の歩みと共に長きにわたり受け継がれているものであり継続と発展性を感じることができました。2 日目の学術集会では特別企画『笑顔のプログラム in Tonga, since 1998』が開かれました。南太平洋医療隊のトンガでの活動を通じてトンガを取り巻く状況ならびに、途上国における歯科保健の方向性について有意義な討論がなされました。



この度の学術集会においても継続的に活動をされている団体・関係者ならびに国際協力を携わる学生達と様々な交流を深めることができました。この参加を通じて発表の場としてだけでなく、これからもあたたかい国際交流の場としても JAICOH が発展してゆけば良いと思いました。最後にご尽力いただきました関係者方々に厚くお礼申し上げます。

## 研修会報告

JAICOH 理事 OISDE 谷野 弦

2015年11月29日(日)14時より日本大学松戸歯学部において2015年度研修会を開催いたしました。今回は看護師で青年海外協力隊OG・現北里病院所属の伊藤由依先生、歯科医師で東京歯科大学国際医療研究会OG・現鶴見大学歯科麻酔学講座の角田らいら(旧姓田中)先生のお二方にご講演いただきました。伊藤先生からは『西アフリカ、ベナン共和国での保健活動を通して』というタイトルで、2011年から2013年の協力隊員でのベナン経験をお話いただきました。我々にとって未知のベナンという国の概要から実際の活動内容まで盛り沢山でとても1時間では語りつくせない内容でした。また、角田先生からは『学生が国際保健活動を行うということ～学生時代の経験を通して～』というタイトルで学生時代の活動を中心に現在の歯科学生に向けたメッセージをお話いただき、参加した学生から多くの質問を受け、活発なディスカッションが行われました。多くの方に参加して頂き、また懇親会も大いに盛り上がり大変充実した研修会となりました。次回は5月22日(日)を予定しています。今後ともJAICOHの活動にご協力お願いいたします。



## 西アフリカ・ベナン共和国での保健活動を通して

北里大学病院 伊藤 由衣

私は青年海外協力隊・看護師隊員としてベナン共和国へ派遣されました。配属先である保健センターは、地域住民が最も利用する末端の医療機関であり、一般診療、産科、乳幼児予防接種の3部署から構成されています。私は予防接種部門を拠点に活動に取り組みました。

全ての乳幼児に対して、無償予防接種(BCG、5種混合、ポリオ、麻疹、黄熱病、肺炎球菌)が実施されています。しかし、様々な社会的・文化的背景により、ワクチン未接種のまま1歳を迎えてしまう子供がいるのが現状です。「全ての赤ちゃんに予防接種を」を目標



に同僚と話しあい、環境改善、カルテ整理から活動をスタートし、母子手帳の有効活用、予防接種などの啓発活動を行いました。思うように物事が進まないこともありましたが、任地の人々との絆が、私の活動を支えてくれました。同じ時間を共有し相手を知ること、相手目線で物事を捉えることは、途上国で活動していく上で大変重要であることを心から感じた貴重な2年間でした。

## 学生が国際保健活動を行うということ～学生時代の経験を通して～

東京歯科大学国際医療研究会 OG 鶴見大学歯科麻酔科 角田らいら



学生時代、私は大学の国際医療研究会という部活に所属し、スタディーツアーに計5回参加、国際保健の学生団体で活動するなど、課外活動として国際保健（のようなこと）をおこなっていました。

学生が課外活動をするには“ゆとり”と“環境”がないと難しいです。“ゆとり”とは、金銭的、時間的、学校の成績等のゆとりです。また“環境”とは、指導してくれる先生や興味を同じく持つ友達が周囲にいるか、チャンスや情報が自分の周りにあるかです。学生は自分一人で責任が持てない分、環境に大きく影響されてしまいます。私は幸いにもそれらに恵まれていたおかげで、国際保健活動を行う

事ができたと思います。自分は、卒業後、今のところ国際保健につながる活動は行っていません。しかし海外での経験や人とのつながりは今も生きています。学生時代に国際保健活動を行っていて本当に良かったと思っています。

学生にとって JAICOH はとてもよい“環境”だと思います。JAICOH に参加している学生には、今後も国際保健の活動を頑張ってくださいたいです。

## 研修会に参加して

東京歯科大学歯学部4年 上野 琴美

平成27年11月29日（日）に日本大学松戸歯学部で開催された研修会に参加しました。

講演では、青年海外協力隊のOGである看護師の伊藤由衣先生の西アフリカ、ベナン共和国での保健活動のお話や、東京歯科大学国際医療研究会OGである角田らいら先生の学生時代の国際保健活動のお話を伺いました。

ベナン共和国では青年海外協力隊の活動によって医療機関の労働環境が改善されていく様子がとても印象的でした。また、学生時代のスタディーツアーで1年次と6年次にタイへ行った際、学年が異なることで感じることに変化が現れたというお話を伺い、私も今後の活動ではそのような変化を意識しながら活動していきたいと思いました。

今回伺ったお話をもとに、今後の学生生活における国際保健活動をより充実させていきたいと思っています。ありがとうございました。

## 役員挨拶

理事

東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野

相田 潤

私が JAICOH に参加させていただくようになったのは、北海道大学歯学部  
の学生時に海外協力隊 OB の原田祥二先生、板垣晶博先生にご紹介いただいた  
ことがきっかけです。そして同級生と4人で「冒険歯科部」を立ち上げ、  
国際的な歯科保健医療について考えるようになりました。JAICOH は多くの先  
生方からたくさんの学びがある場だと思います。そうした場の活性化にすこ  
しでも貢献できればと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



理事

日本大学松戸歯学部公衆予防歯科学講座

有川 量崇

大学3年の冬に、JAICOH が企画しました第1回カンボジアスタディーツア  
ーの募集を目にしたことが、私の国際保健との出会いです。あれから20年、  
国際保健を通じて多くの素敵な人と交流でき、刺激を受けております。今回、  
JAICOH 理事に就任させていただきましたので、多くの学生が国際保健を肌で  
感じることができるよう、微力ながら皆様のサポートをさせていただきます。よ  
ろしくお願いいたします。



理事

南太平洋医療隊

日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座

遠藤 真美

2005 年から南太平洋医療隊としてトンガ王国で国際歯科保健  
活動をさせて頂いています。『毎年、なぜトンガに行くの?』と  
質問されます。実は良く解りませんが、本活動が医療者、教育者、  
研究者として重要な何かを教えてくれていると思います。文化や  
食生活も異なる国での保健活動は、各人の人生に寄り添う医療が  
その原点であることを毎日、再認識させてくれます。JAICOH へ  
の興味も御縁!! 多くの方にお会いできるのを楽しみにしてい  
ます。



## 事務局より

2014 年度事業報告 (2014 年 7 月 1 日～2015 年 6 月 30 日)

2014 年



- 7月6日 第25回総会・学術集会開催  
[神戸国際会議場、黒田耕平（日本モンゴル文化経済交流協会、生協なでしこ歯科）]
- 9月 ニュースレター（第72号）発行
- 2015年
- 1月25日 役員会開催 [日本大学松戸歯学部]  
研修会開催  
[日本大学松戸歯学部、河村康二（南太平洋医療隊、カワムラ歯科医院）]  
・トンガ王国での歯科保健活動  
・JAICOH 発展のために思うこと
- 3月 ニュースレター（第73号）発行
- 5月31日 研修会開催 [日本大学松戸歯学部、高柳篤史（高柳歯科医院）]  
・歯ブラシの構造と機能—集団に合わせた歯ブラシの選び方—
- 6月 ニュースレター（第74号）発行

### 平成26（2014）年度 決算書（自平成26年7月1日～至平成27年6月30日）

#### 歳入の部

款	項	平成26年度 歳入予算	平成26年度 歳入実績	備考	
会費	普通会員	¥200,000	¥134,000	普通会員26件（2013年度1件、2014年度23件、2015年度2件）、学生会員2件	
	維持会員	¥100,000	¥0		
	その他	¥0	¥0		
	小計	<b>¥300,000</b>	<b>¥134,000</b>		
寄付金	事務局関係	¥20,000	¥0		
	シーズプロジェクト	¥100	¥0		
	その他	¥0	¥0		
	小計	<b>¥20,100</b>	<b>¥0</b>		
雑収入	ニュースレター広告料	¥100	¥0		
	研修会参加費	¥60,000	¥30,000		開催2回（2015.01.25、2015.05.31）
	銀行利子	¥100	¥0		
	その他	¥100	¥0		
	助成金	¥0	¥0		
	小計	<b>¥60,300</b>	<b>¥30,000</b>		
前年度 繰越金		<b>¥1,256,716</b>	<b>¥1,256,716</b>		
歳入の 合計		<b>¥1,637,116</b>	<b>¥1,420,716</b>		

歳出の部

款	項	平成 26 年度 歳出予算	平成 26 年度 歳出実績	備考
会議費	役員会	¥15,000	¥0	開催 1 回 (2015.01.25)、出費無し
	総会・学術集会	¥100,000	¥100,000	
	会場借上料	¥5,000	¥0	
	小計	<b>¥120,000</b>	<b>¥100,000</b>	
事務費	通信費	¥5,000	¥3,086	領収証送料
	印刷費	¥200,000	¥209,693	ニュースレター 3 回 No. 72-74 (送料含む)
	消耗品費	¥2,000	¥6,264	長 3 封筒 200 枚
	小計	<b>¥207,000</b>	<b>¥219,043</b>	
事業費	研修会	¥50,000	¥34,765	懇親会補助金 2 回、講師料 5/31
	広報事業	¥1,852	¥7,551	ホームページ維持費用
	シーズプロジェクト	¥100	¥0	
	小計	<b>¥51,952</b>	<b>¥42,316</b>	
渉外費		¥100	¥0	
備品費		¥100	¥0	
積立金		¥100	¥0	
予備費		¥5,000	¥154,136	記載漏れ
次年度 繰越金		<b>¥1,252,864</b>	<b>¥905,221</b>	
歳出の 合計		<b>¥1,637,116</b>	<b>¥1,420,716</b>	

監査報告書

歯科保健医療国際協力協議会

会長 河村康二 殿

監査の結果を下記のとおり報告いたします。

記

平成 26 (2014) 年度 (平成 26 年 7 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日まで) の事業報告書、決算書および附属証拠書類を精査した結果、適正かつ正確に処理、記載されていることを認める。

以上

平成27年7月2日

歯科保健医療国際協力協議会

監事 白田千代子

監事 原田 祥二

## 会費納入をお願いします！

ニュースレター・NGO ディレクトリイによる国際歯科保健医療協力に関わる情報提供など、本会の事業は皆様から納入いただく会費によって運営されています。つきましては、会費納入にご協力賜りたくお願い申し上げます。

年会費は、普通会员：5,000 円／年、維持会員：10,000 円／年、学生会員：2,000 円／年で  
す。JAICOH の年度は7月1日から6月30日です。

会費納入先（郵便振替） 口座；00140-9-599601

名称；歯科保健医療国際協力協議会

他金融機関からの振込用口座番号

〇一九（ゼロイチキュウ）店（019） 当座；0599601

## メーリングリスト（JAICOH-ML）に登録・投稿してください！！

JAICOH では、歯科保健分野における国際協力や地域保健に関するメーリングリスト（JAICOH-ML）を運用しています。JAICOH 会員の方はもちろん、JAICOH 会員でもなく、登録することができます。情報交換や、各種研修会等のお知らせにも使用しておりますので、各団体の活動報告や参加メンバー募集、学生向けのスタディーツアーへの募集のお知らせなどに、ぜひご利用ください。

なお、この ML には、JAICOH 会員に限らず、歯科保健分野における国際協力、国際保健、地域保健に関心のある方は誰でも無料で登録が可能です。歯科医師や歯科衛生士だけではなく、他の医療職、医療と直接関係ない方や学生も OK です。

ML 登録をご希望の方や問い合わせは、1. 氏名、2. 所属、3. メールアドレスを、JAICOH 事務局 ML 担当・門井謙典（jaicoh-admin@umin.ac.jp）まで送信ください。数日で手続きいたします。よろしくお願いたします。

7月4日（土）・5日（日）に、第26回 JAICOH 総会・学術集会在日本大学松戸歯学部で開催されました。今大会は大会長兼 JAICOH 会長の河村康二先生が目指す「JAICOH 理念の次世代への継承と発展」のとおり、学生の活躍が目覚ましく、参加人数も過去最多規模でした。お集まりいただいた皆様、ご支援くださった方々、ありがとうございました。

また、運営方針へのご意見がありましたらお寄せください。よろしくお願いたします（竹内）。